

64 列 マルチスライス CT

『SOMATOM Definition Edge』を導入しました



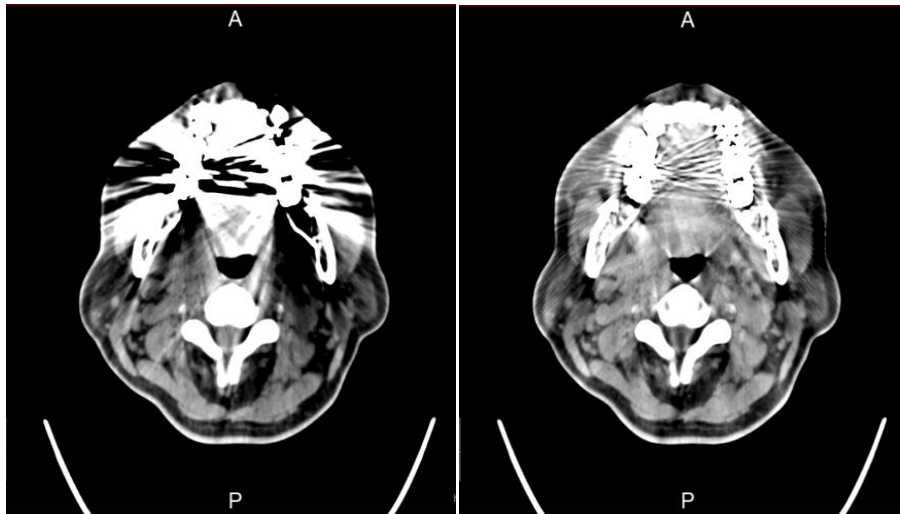
平成30年12月に、ドイツ・シーメンス社製「SOMATOM Definition Edge」を導入しました。この装置は、最新の被ばく低減技術や造影剤低減技術が搭載されているため、高画質で侵襲度の低いCT検査が可能です。

搭載されているX線管は全身領域で0.28秒の高速回転を用いて検査の実施ができ、1回転で128スライスの画像を同時に出力することができます。そのため、呼吸止めの難しい患者様や体動のある患者様（救急、小児など）にも柔軟な対応が可能となりました。心臓検査においては、シャッタースピードが速い装置のため、以前の装置では困難であった高心拍症例や心拍変動症例などにも精度の高い画像の提供が可能です。

ここ数年は、日本におけるCT検査の被ばくの多さは国内外問わず問題視されていますが、本装置にはフォトダイオードとA/Dコンバータが1つの集積回路に集約され、さらにシンチレータ素材も一体化された『Stellar Detector』や最新型のモデルベースの逐次近似画像再構成法『ADMIRE』によって従来の装置より低被ばくでCT検査が可能となりました。

さらに人工骨頭置換術後や人工膝関節置換術後、整形領域では体内に金属が留置されている症例がありますが、以前の装置ではこれらの症例に関しては十分な画像を得ることができません

でした。本装置に搭載されています金属アーチファクト低減機能『iMAR』を使用する事により症例によってはそれらの問題も解消できる可能性があります。



金属の影響あり

金属の影響が少ない

『iMAR』使用

新装置の導入で、患者様にとってより安全・安心な検査の実施が可能となりました。